

令和3年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

図画工作科

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
二年	<p>○水彩絵の具で『虹色カタツムリ』を描き、色の混色を楽しんでいる。</p> <p>○虹色カタツムリと色画用紙の背景を組み合わせることで表現することができた。</p>	<p>○水彩絵の具の特性を理解し、楽しみながら身につけていけるように指導する。</p> <p>○造形活動の基礎として紙の特性を理解し、はさみの正しい使い方を身に付ける。</p>	<p>○様々な描画材や方法を採用して、子どもたちが発想の幅を広げて表現していけるような題材を選ぶ。</p> <p>○様々な素材に触れさせることで、造形感覚を高めていけるようにする。</p>		
三年	<p>○『おいしい100味キャンディ』では、色の三原色を使って、混色から筆使いまで学習し、意欲的に取り組むことができた。</p> <p>○制作を通して、友達の作品や表現のよさに気づき、自分の作品にも生かそうとする姿が見られた。</p>	<p>○水彩絵の具による混色の方法を理解し、三原色を使って様々なキャンディの色を作り出し、混色して表現する力を養う。</p> <p>○自分や友達が表した色のよさや美しさを楽しむことができる。</p>	<p>○様々な材料を使い、表現の多様性を生かして、自分の表現や発想の可能性を見出せるように、題材や使用する用具の工夫していく。</p> <p>○ワークシートでの振り返りを行うことで、鑑賞活動を充実させる。</p>		
四年	<p>○モダンテクニックの学習をして『まぼろしの花』の制作に取り組んだ。様々な技法を用いて創造力を働かせながら、取り組むことができた。</p> <p>○既習事項を生かして、様々な表現を楽しみながら表すことができた。</p>	<p>○表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしながら、自分なりの表し方を工夫する力を身に付ける。</p> <p>○「まぼろしの花」とその世界について想像を広げ、表したいイメージをもちながら、色や形を工夫して表すことができる。</p>	<p>○様々な用具を準備し、実際に使いながら、自分の表現方法を試し、広げていけるような場の設定を工夫する。</p> <p>○さまざまな技法を紹介し、多様な表現のよさ、おもしろさに気付かせる。</p>		
五年	<p>○『針金アート』ではデザイン案をもとに針金の特徴を生かし、曲げる、ねじる、伸ばすを繰り返しながら主体的に取り組むことができた。</p> <p>○友だちの発想や工夫に学び合う姿勢が見られた。</p>	<p>○想像力を働かせて発想し、アルミ針金の特徴をとらえて、表現方法を工夫したり、構想を考えたりする力を養う。</p> <p>○友達と互いの作品を鑑賞し、針金の立ち上げ方の工夫や、形</p>	<p>○題材を工夫し、材料や用具などの環境整備に努めることで、児童がこれまでの造形活動の経験を振り返り、自分の想いや考えを表現できるようにする。</p> <p>○対話的な鑑賞活動を取り入れることで自分の見方・考え</p>		

		の面白さ、美しさを感じ取ることができる。	方を深められるようにする。		
六年	<p>○『防火ポスター』の制作に取り組み構想から効果的な配色を考え細部までこだわり完成させることができた。</p> <p>○『ステンドアート』では好きな季節をテーマに切り絵の学習をした。色の構成や、配色など、表したい季節のイメージに合うように工夫し、時間をかけて一つの題材に取り組むことができた。</p>	<p>○色や形の組み合わせや構成を工夫して、見やすいポスターになるよう、色の配色や文字のバランスを考え工夫して表すことができる。</p> <p>○課題に対して、自分なりに計画を立てて制作を進めていくことができる。切り絵の線の形や流れ、色の配色など工夫して表すことでデザイン構成していく力を養う。</p>	<p>○ワークシートを活用して、デザインの計画を立てたり、描きながら完成までの手順や組み立て方を考えたりするように指導し、完成の喜びを味わえるようにする。</p> <p>○中間鑑賞を工夫し、自分や友達の作品よさや工夫に気づき、自分の作品に生かしているようにする。</p>		